

神奈川県青年会議所

大本山光明寺法主柴田哲彦台下御染筆



24期会長挨拶	2
柴田台下・横井教区長挨拶	3
23期会長退任挨拶	4
24期役員紹介	6
各組会長紹介	8
平成29年度事業報告	10
卒業・新入会員挨拶、出向者紹介	11
平成30年度事業計画	12

第24期テーマ
いちごいちは
「一期一会」
～いま共に励む～

第22代会長 三浦康志

「一期一会」

い　ち　ご　い　ち　え

「いま共に励む」

第二十四期浄土宗神奈川教区青年会
第二十二代会長 三浦康志



この度、第二十二代小俣慶樹会長の後任として、第二十四期浄土宗神奈川教区青年会・第二十二代会長に就任いたしました高座組西光寺の三浦康志と申します。私自身はまったく浅学菲才の身であります

が、会員のみなさまのご協力をいただき、共に一期二年間活動していきたいとおもいます。浄土宗神奈川教区青年会（以下「神淨青」）の歴代会長をはじめ、多くの卒業会員のみなさまの努力と熱意によつて培われた神淨青の歴史と伝統を、全身全靈を込め、しっかりと継承してまいります。二年間どうぞよろしくお願ひいたします。

神淨青会則第三条（目的）には「本会は、自行・化他・和合の理念のもと、会員相互の友情を深め、青年宗徒としての自己修練と社会教化に励み、宗門の興隆に寄与することを目的とする」とあります。今期のテーマを考えるにあたり私は、「会員相互の友情を深め、青年宗徒としての自己修練と社会教化に励み」という箇所に着目いたしました。

同じ神奈川教区内の寺院に所属する私達にとって、神淨青で行いました鎌倉・高徳院さまでの托鉢がと同様に、青年宗徒としての自己修練と社会教化に励み」という箇所に着目いたしました。

十八歳から四十三歳までの青年会の期間は一生に一度しかないとても大切な時間です。淨青の活動に参加することで仲間と出会い、いろいろな話をします。自分で刺激を受けたり、不安が取り除かれたりします。自分一人ではなかなかできないことも、挫折しそうになつた時も、同じ目的を持つ仲間がいれば乗り越えることができます。淨青活動を通して、会員同士で研鑽を積むなかで、友情が芽生えたらば、この神淨青の目的に適うのではないでしようか。また青年僧として、今しかできないことを自分が自分のためにもなり、将来の財産になるとおもつております。「後悔することができないように、今という時間を大切にし、共に励みみたい」と考えましたところ、「一期一会」という言葉がおもい浮かびました。念のため辞書で意味を再確認いたしましたと、「一生に一度だという思いを込めて、物事に対しても誠心誠意、真剣に取り組むこと」と解説されていました。

このようなどころから、第二十四期では「一期一会」と「いま共に励む」を活動テーマとし、諸々の事業を進めてまいりたいと考えています。平成三十年度定期総会後、最初の事業として、神奈川教区吉水講詠唱大会に淨青で参加させていただいているご縁がありますので、そのための稽古を含め、檀信徒の教化の一助となる詠唱について、神奈川教区吉水講理事長・三浦正英先生を講師に迎え勉強会を開催いたしました。

継続事業といたしましては、大本山光明寺さまでの清掃奉仕や十夜法要での托鉢、御忌別時念仏会、神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会、寺集めてらつどく、小俣前会長期に作製した『ねんぶつ日記』販売などを引き続き行つてまいります。

また、大変個人的な思い入れではありますが、以前、

ても印象に残つており、参拝者の教化にもつながる托鉢を高徳院さまで行いたいと考えております。さらに今年度は税務講習会として、税理士でもある中郡組富田尚敬会員に講義をお願いしており、寺院運営の実務に役立つ研修も企画しています。

加えまして平成三十一年度は、六時礼讃や家族親睦会を開催したいとおもつており、今後、執行部、理事会で協議してまいります。

また小俣前会長が関ブロ淨青第二十四代理事長に就任いたしましたので、神淨青としても関ブロを大いに盛り上げるべく、各事業への参加はもとより、例年行われている関ブロスポーツ交流大会に向けての練習会も予定しております。

そして今年度は、神淨青が発足して四十五周年という節目の年を迎えます。十一月五日（水）に忘年会と兼ねての記念式典を開催いたします。卒業会員のみなさまと現役会員との親睦を深める貴重な機会になるかとおもいます。ぜひ多くの卒業会員のみなさまにご参加いただければ幸いです。

近年会員数が減少しておりますが、今年度は十一名の新規入会があり、一〇二名の会員をもつて構成されています。しかしながら、各事業においては限られた参加者となつている現状もあります。そこで、各事業に一人でも多くの会員に参加していただけるよう、お互いに声をかけ合い、一度参加した方が、また参加したいという雰囲気を作ることを目標としていきます。

どうぞ、教区内寺院諸大徳におかれましては、淨青活動へのご理解ご協力を賜りますことを伏してお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

合掌



白道を一向に歩もう
ひたすら

大本山光明寺法主
柴田哲彦台下

去る五月一日から五日間、大本山光
明寺で五重相伝会が開筵されました。
その最終日、要偈道場に設えた白道を
歩んだ時、ふと過ぎ去つた四十一年前
の記憶が脳裏を過りました。

（注）

東から「心配せずに、まつすぐ進んで行
きなさい」、西からは「しつかり守るか
ら、頑張つて渡りなさい」の声が聞こえ

淨土宗神奈川教区青年会の皆様には、日頃多くの場面で大変お世話になつております。誠にありがとうございます。申し上げます。

『日記』の作成だと思います。

それは昭和五〇年十月十日付けて
神淨青の機関紙『淨青神奈川』創刊号
が発刊された時のことです。当時淨青
会長を仰せつかつていて老衲が寄稿し
た原稿の題が「白道と共に歩もう」で
あつたからです。

火の河は人間が生得的に持つてゐる
怒りや怨む心。水の河は同じく欲望や
貪りの心。白道とは衆生が持つてゐる
願生清浄の心。賊獸は悪見論難。東の
声は釈尊の遺教、西の声は弥陀の呼び

これから、四十五周年を迎えるようとしている貴会が、三浦新会長のもと新執行部と共に船出をされますこと心からお祝い申し上げます。

しかし、檀家数減少のことが取り沙汰されています。寺院に人が来ないと、いう現象はこれから先、懸念されてくるところです。私たちは、地域の寺院

周知のごとく、白道とは高祖善導大師撰述の『觀經疏』「散善義」三心釈に説示されている譬喻を用いた所謂「二河譬喻」の教説に示めされる語で、熟考してみると、人間は善導大師の時代も現代も、本質的に毫も變つていません。

これは、何をするにも新たな創造をして
いるからでしょうか。とはいへ、歴史あ
る教団の中での創造性は、思いのほか
大変なことなのでしょうか。
また、『ねんぶつ日記』は、昨年の全
国教区長教化団長会議で全国の教区
の代表者に宗務庁の協力のもとに配
布させて頂きました。実際に手にとつ
て見た諸大徳の驚きの表情は忘れら
れません。

現代は人の心も社会も病んでいます。

問視されます。誰もが思いつかないこれまでん。その後、教務所にも問い合わせを事業化するその情熱はどこからわせが来てています。

の前に突然河が現れる。南には火の河、北には水の河、河の幅は百歩ほど、火共々手を携えあい、白道を一向歩んでいくことを切に念願いたします。

とを事業化する。その情熱はどこから
来るのでしょうか。それは偏に念佛信
仰によるものだと思います。念佛信仰
の大切なところを核として目的を定
め、いつもお手伝い頂く教区新年互礼
会、詠唱奉納大会、普通講習会、関東
地方教化センターの行事にも颯爽と
わせが来ています。

続いていた。しかし、火水の波が道を襲い西岸に辿り着くにはあまりにも危



ご挨拶

神奈川教区教区長
横井 隆彦 上人

とを事業化する。その情熱はどこから
來るのでしようか。それは偏に念佛信仰
によるものだと思います。念佛信仰
の大切なところを核として目的を定
めたならば、そこから派生するものは、
たとえ形は変わつても達成されるので
あるので、いつもお手伝い頂く教区新年互礼
会、詠唱奉納大会、普通講習会、関東
地方教化センターの行事にも颯爽と
した净青会員の皆様の姿が注目され
ています。これからも皆様のご活躍と
貴会のご発展をお祈り申し上げます。

また、『ねんぶつ日記』は、昨年の全国教区長教化団長会議で全国の教区の代表者に宗務庁の協力のもとに配布させて頂きました。実際に手に見て見た諸大徳の驚きの表情は忘れられません。その後、教務所にも問い合わせが来ています。

貴会のこ発展をお初申し上にまつて

会長退任挨拶

第二十三期浄土宗神奈川教区青年会
第二十一代会長 小俣 慶樹



この度、任期満了に伴い第二十三期浄土宗神奈川教区青年会会長職の退任を迎えることになりました。平成二十七年十二月、臨時総会にてご承認を頂き今まで、本山、教区をはじめとする関係団体各位、歴代会長、歴代会員そして正会員各位のお力添えのもと任期満了を迎えることができました。衷心より御礼申し上げます。

第二十三期浄土宗神奈川教区青年会では、その活動テーマを「「処定想」へ変わらぬ為に変えること」と掲げ、自行・化他・和合の本意を常に意識し、時代に即した切り口で会の運営をして参りました。発足となつた時を想起しますと、先達が築いてこられた苦心の跡が窺えると同時に、長い時を経て今もこうして会が存続してきたことは、偏に一念天に通じたものと学ばせて頂きました。その際、一度この組織の存在意義を感じて浄土宗の僧侶にしかできないことを青年会で行っているかを再確認いたしました。それはもちろん尊空二祖のフィルターを通した本願念佛相続と結縁であることは言を俟ちません。それが何よりの前提であり、それが違えた時、当会の理念はただ名ばかりとなり、後に神淨青の存在意義が薄れていくものと思つております。

ます。今期の活動テーマ「「処定想」とは、「西方極楽浄土への往生の想いを搖るぎなく定める」ということであります。つまり、より一層の願往生心の構築であり、第二十三期ではそれを構築することを目的とし、主に三つの事業を立ち上げました。

一つ目は「定想会」の開催です。第一回定想会には、総大本山布教師会の第一線でご活躍されている慶野匡文先生から本願の正しい受け取りと伝えることの大切さを、第三回では大正大学准教授（当時）曾根宣雄先生からは浄土宗が提示すべき人間觀を中心のご講義頂きました。また第四回では千葉教区から総大本山布教師郡嶋泰威先生をお招きし一枚起請文のご講義を頂きました。そして第五回では本会の江島尚俊会員に世界宗教史をご講義頂きました。

尚俊会員に世界宗教史をご講義頂きました。また講義のみではなく、第二回では平成二十八年が東日本大震災七回忌にあたる年であつたため、現地に赴き被災寺院にて追善法要を勤め、住職から当時のお話を伺いました。改めて弥陀の大慈悲を尊く身に感じた次第であります。また最終回ではインドで仏跡を参拝し、釈尊の想いを肌で感じることもできました。この二年を通して開催した「定想会」に卒業会員も含め多くの会員にご参加頂いたこと心より御礼申し上げます。

二つ目は「各組担当別時念佛会」の開催であります。教区に大本山光明寺様を擁する環境下で、年に一度の御忌別時会だけでなく、研修会を組み合わせた各組担当制による別時念佛会を企画いたしました。各組担当制とした理由は、昨今、それぞれの組淨青で行っている研修会の内容が非常に充実しており、それを組内だけで終わらせるのではなく、神淨青という大きな輪の中と共に学び合つてもらいたいという想いからであります。そのためこの別時念佛会は、研修会を組み込んで各組が運営企画するものと致しました。それぞれの組の特色や工夫が見られる充実した研修内容となり、最終回には、大本山光明寺柴田哲彦大僧正台下のご講義を賜り、その後、陽が沈む中で山門楼上にて日想観別時念佛会を厳修する運びとなり、新たな学びがお別時と共に得られました。

二年間本当に有難うございました。

合掌

三つ目は、『ねんぶつ日記』の作製販売であります。この冊子は檀信徒向けに作製したものであり、一人で多くの方に本願念佛の相続をして頂くためのものであります。自身がお伝えした成果を目で見て感じて頂けるよう仕上げました。日記をつけるように毎期末には三万四千冊を超すご結縁を頂くことができます。

また、「寺集ぐてらつど」の開催も第五回となり、桜も満開となつた好天の中、大勢のご来場を頂くことができました。寺院の空間活用の意義を第一に次回の開催も期待するところであります。

そして、平成二十八年十一月二十八日には、関東ブロックスポーツ交流大会を当会担当で開催させて頂きました。遠近各地より二百名を超す関プロ浄青会員のご参加を頂き無事円成できましたこと、関係団体各位はもとより当会会員皆さまの努力の賜物であります。会員一人一人の自信に繋がつたものと思っております。また毎年開催されている教区長杯争奪スポーツ交流大会を、本期は港南組と高座組が担当して頂き盛會裏に開催できました。両組会員のご尽力に感謝申し上げます。

また第二十三期が始動した四月に熊本地震が発生致しました。義捐金はもちろん送付させて頂きましたが、この熊本地震発生の際は、災害が発生した場合、必要であろう物資を、被害を受けた組に直接渡されることを想定し、各組から物資を直接引き受け先被災地に送つて頂きました。後に、物資を受け取った被災地の方から心温まる御礼のお言葉を頂戴致しました。

連綿と受け継がれている神淨青、同信同行の仲間としてこれからもこの絆を繋いで頂くことを切願し、また私自身もこの期で学ばせて頂いたことを心腑に納め、管見にとらわれず、これからも念佛弘通、結縁に尽瘁致す所存であります。共に学ぶことができたこと何よりの宝となりました。

定想会



第4回 平成 29年 6月 16日(金)

講師 郡嶋泰威 上人

講題 原点に立ち返る

第5回 平成 29年 11月 6日(月)

講師 江島尚俊 上人

講題 世界宗教史においてインドを学ぶ

-仏教・ヒンドゥー・イスラームの視点から-

第6回 平成 30年 2月 4日～9日

インド研修

靈鷲山、ブッダガヤ、サールナート参拝

第3回 港南・高座 担当

平成29年9月26日(火)

講師 大谷慈通 上人

研修内容

自坊での布教について



各組担当別時念仏会

『ねんぶつ日記』

昨年の完成以来、大変なご好評をいただきました
『ねんぶつ日記』このたび重版いたしました。ぜひお寺
の行事での頒布品としてご活用ください。

ご注文は、神淨青ホームページまたは掲載のQR
コードよりお申込みください。



申込フォーム



青 役 員 紹 介



**副会長
石井
康順**

第 24 期副会長を務めさせていただきます石井康順です。今期三浦会長は、「一期一會～いま共に励む～」をテーマに掲げ、和合に重点を置いた神淨青の事業を計画しております。淨青の期間に知り合った仲間というは一生の仲間です。淨青を卒業して外で会ってもたちまち話の合う仲間、いざといふ時に助け合える仲間、ちょっとしたことでも相談できる仲間、そのような信頼関係を、淨青活動を通じて築いていただければとおもっております。

普段あまり接点がなく話をした事がない、年もちょっと離れている、声を掛けにくいような人にも話し掛けてみれば、思いもよらない話しを聞けたり、信頼関係が築けたりするかもしれません。是非とも今期の事業、ちょっとした懇親会にも奮ってご参加いただきたいとおもいます。

第 24 期、香川副会長と共に三浦会長をしっかりサポートし、2 年間副会長を務めてまいります。何卒よろしくお願ひいたします。

この度、第 24 期神淨青の監事を務めさせていただきます鎌倉組正光寺の伊香輪一暁です。

早いもので私自身、今期が淨青活動最後の 2 年間になります。幸いにも神淨青では事務局長、副会長を務めさせていただき、さまざまな経験をさせていただきました。その経験を活かして、監事という大役を務められるよう、努力、精進してまいる所存です。

今期の神淨青では、テーマ「一期一會～いま共に励む～」のもと三浦康志会長らしい和合を主としたさまざまな事業を展開してまいります。また神淨青発足 45 周年の記念事業もございます。監事という立場ではございますが、会員のみなさまと共に研鑽に励んでいきたいとおもっておりますので、各事業へのご参加・ご協力、またご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

**監事
伊香輪
一暁**



**会計
安田
雄心**

この度、第 24 期神淨青会計を務めます港北組心行寺の安田雄心です。どうぞよろしくお願ひいたします。
前期は小保会長のもと港北組常任理事として微力ながら神淨青のために活動させていただきました。今期、三浦新会長に会計としてお声かけいただきましたことは、大変光榮なこととおもっております。
さて、今期のテーマ「一期一會～いま共に励む～」は、「自分一人ではなかなかできないことも、挫折しそうになった時も、

同じ目的を持った仲間がいれば乗り越えることができる」という趣旨とのことです。私たち青年会員はそれぞれ個性をもっています。英語を話す人もいれば、ギターの演奏を得意とする人、野球好き、サッカー好きの人もいるでしょう。その一人一人が自分の持つ個性を最大限に活かし、神淨青の活動において一翼を担っていくことができたら、会として益々発展していくとおもいます。執行部としてその実現に向けたお手伝いができる幸いです。

前期より引き続き、第 24 期浄土宗神奈川教区青年会の相談役を仰せつかりました港南組専念寺の伊藤知道です。

今期は、「一期一會 いま共に励む」というテーマのもと、2 年間、三浦康志会長を支えていきます。組淨青や神淨青、関ブロ淨青や全淨青の事業を通じて、テーマのとおり、さまざまな人達と関わり、会員のみなさまが興味のあることや関心があることへ繋がるお手伝いができればとおもっています。

今期は神奈川淨青が発足して 45 年の節目の期です。淨青会員としての期間、青年僧侶の間にしかできないことや仲間達との親睦を積極的に行い、テーマや信条を今一度、確かめながら淨青活動を行っていってもらいたいとおもっています。

神淨青会員みなさまの活躍に期待します。2 年間、何卒よろしくお願い致します。

**相談
伊藤
知道**



**編集
大橋
雄人**

三浦康志会長のもと、第 24 期神淨青編集委員長を務めさせていただきます港北組大蓮寺の大橋雄人です。
昨年度、編集委員会を中心とした人員により『ねんぶつ日記』が作製・発行され、教区内から好評をいただいております。今期も継続して管理・発行・受注を担ってまいりたいとおもいますので、会員自らの檀信徒教化にお役立ていただければ幸いです。

また近年、各組とも精力的かつ有意義な研修会が開催され

ております。みなさまにおかれましては、ぜひとも神淨青メーリングリストをご活用いただいて参加者を募り、そのご報告を、編集委員を通じて発信し、神奈川淨青の活動を広く全国の淨青会員また一般の方々にPRをしていただきたいと考えております。一方で今期は試みに各教区の淨青活動や各宗派の青年会活動についても情報収集し、みなさまにお届けできればともおもっています。

よろしくお願ひいたします。

事務局次長



事務局員



後藤 佳孝



戸松 良明



土川 憲弥



一真成



久富 亮弘



吉岡 了真



第24期 神淨

本年度より神淨青副会長となります増全寺 香川陽祐で
す。45年の長きに渡り受け継がれ、錚々たる方々が歴任され
た神淨青の副会長の職を務めることは大変な重責ではありま
すが、この名譽ある職に恥じぬよう三浦会長を補佐し、執行部
一丸となって各事業に取り組んでゆく所存です。

神淨青でもこの数年来会員減少が目立つようになっており、
比例して各事業への参加者も目減りしている現状です。しか
しながら、関東ブロック内では2番目に、全国にあっては6番目

に多い会員を有しております。この恵まれた会員数で多彩な
人材がいる環境下にあってこそ、「てらつど」などの全国に類を
見ない事業を展開できると考えております。

神淨青会員のみなさまにおかれましては、今期も引き続き
神淨青の事業への更なるご参加をお願いいたします。また、関
ブロネットへ小俣理事長を、全淨青へ大橋幹事を輩出しており
ます。上部組織の事業へも積極的なご参加をお願いいたします。

副
香川
陽祐



監事
松江
弘信

第24期神淨青監事を務めさせていただきます三浦組満
宗寺の松江弘信です。今期、監事という大役をお任せいた
だき、伊香輪監事、また二十四期執行部のみなさまと共に三浦
康志会長を支え、私自身の淨青活動の集大成とするべく務め
させていただきますのでよろしくお願いいたします。

今期の三浦会長が掲げたテーマは「一期一会～いま共に
励む～」です。「和合」に重点が置かれた事業が計画されて
いますが、青年会活動で「和合」を深めるなか「自行」(自己研鑽)

と「化他」(教化)も必ず深まっていきます。また、神淨青での活
動は、卒業した後でも浄土宗僧侶、神奈川教区の一員である
限り一生の大きな財産となります。

諸事情でなかなか参加できない会員も「一期一会」を肝に
銘じて、一回でも多くの活動に参加し、若い会員の力、アイデ
アを発揮して、共に神淨青を盛り上げていただきますよう、お
願い申し上げます。

第24期神淨青会計を務めさせていただきます、港南組大
誓寺の塩澤広大です。

昨今、多くの仏教団体や各寺院が厳しい財政運営を迫られ
ております。私たち浄土宗青年会においても、会員の減少や事
業参加人数の減少なども影響し、財政的な厳しさを増して
います。また、仏教離れも深刻化しており、寺院や僧侶のお金の
使い方に対する一般的な目は一層厳しく、寺院の会計の在り

方も転換期を迎えていると感じています。

そのような時期において、会計という重要な役を預かるに
あたり私の経験不足は否めませんが、神淨青の事業が円滑に
進むようしっかりと財務管理を行い、任期をまとうしてまい
りたいとおもいます。どうぞよろしくお願いします。

会計
塩澤
広大



相談
係
小俣
慶樹

第24期浄土宗神奈川教区青年会(以下、本会)の相談役
を務めさせて頂きます、小田原組西念寺小俣慶樹と申します。
2年間どうぞ宜しくお願い致します。今期、本会は創立45周
年記念の良縁を迎え、また全淨青も創立50周年を迎えます。
三浦康志会長の思いを具現化することを第一に私も尽力して
参ります。

今期執行部をはじめ、理事職に就任された会員各位は、組
の代表として選ばれた証です。そのお役目は、県での情報や理

事会で承認された事項を組内に周知させ、また組内の情報や
意見を県に反映・発信させることであります。自分が先頭に
立って県行事に参加して頂き、組内の会員を率先して参加を
募る責務があります。その中で、三浦会長をはじめとする役員
は、一丸となって一つ一つの声に答えるものであります。
今期相談役として、これらが円滑に進むために本会事業全般
に目を配ることが責務と思っております。同信同行の仲間とし
て共に研鑽致しましょう。宜しくお願い致します。

この度、書記を務めさせていただくことになりました、中群
組法界寺の神崎隆雄です。

書記の業務は主に理事会などの議事録を作成することだと
聞いております。しかしながら、淨青以外を通じて書記の業務
は未経験であり、分からぬことばかりで、これから勉強させて
いただいく身です。責任重大な仕事であり、不安ではあります
が、諸先輩方に諸々教えていただきながら務めてまいりたいと
おもいます。

文才もなく、はなはだ恐縮ではありますが、作成いたしまし
た議事録で工夫するべき点などございましたら、是非、ご指摘
いただけすると幸いです。

2年間、できる限り精一杯お勤めさせていただきます。厳し
くも寛大なお心で見守っていただけますよう、何卒よろしくお
願い申し上げます。

書記
神崎
隆雄



事務
鈴木
局長
崇仁

このたび第24期神淨青事務局長の任を仰せつかりま
した、高座組淨土院の鈴木崇仁と申します。香川隆順事務局次
長をはじめ、その他6名の事務局員と共に事務を務めさせて
いただきます。

今期は、神淨青の理念である「自行・化他・和合」の中でも、
特に「和合」に重きを置いた事業が多くあります。三浦会長が
掲げたテーマ「一期一会～いま共に励む～」は、まさにその和

合を大切にし、会員のみなさまと共に研鑽・精進していくた
いという思いの表れであると理解しております。より多くの方に
各事業にご参加いただき、みなさまにとって実りある淨青活
動をしていただけますよう尽力する所存です。

私自身の執行部としての経験も浅く、至らぬ点も多々ありま
すが、みなさまのご協力を賜りながら、この一期2年間を務め
ていきたいとおもいます。よろしくお願いいたします。

各組紹介



京浜組



会長
野呂 幸裕

この度、京浜組淨青の会長を務めさせていた
だきます教安寺 野呂幸裕です。一年間の任
期、よろしくお願ひいたします。

今年度、京浜組淨青は総勢十四名にて活動い
たしますが、活気ある若手が多く増えてまいり
ました。神淨青執行部には事務局員として吉岡
了真会員、編集員として林田徹順会員、関ブロ
淨青事務局員に野呂宗幸会員が出向しております。
神淨青事業、全国及び関東ブロックへの
参加を通じて、活躍の場を広げ会員一人一人が
研鑽に励み、共に精進できる喜びを見つける場
であつて欲しいと考えております。



会長
小川 真弘

今期より港南組淨青会の会長を務めさせて
いただくことになりました、無量寺の小川真弘
と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

港南組淨青会では、今年度新入会員として
清源院の永原雄太会員を迎え、総勢十六名で
活動してまいります。今期事業としては、昨年
度より継続する年一回の高座組淨青との合同
法式研修会、毎年末に行う鎌倉組淨青との合
同法式研修会を予定しております。

また、新たな事業として、マナー研修会の開
催を計画しております。一般社会における基本
的な行儀作法をあらためて学び、見識を深め、

港南組

檀信徒教化に役立てたいと考えております。具
体的には、実際にホテルで洋食を食べながら
テーブルマナーを学ぶ研修会や、ビジネススマ
ナー講師の方を招いてご講義いただく社会人マ
ナー研修会を企画しております。

最後に、鎌倉組淨青との合同事業として長年
にわたり柴田哲彦台下にてご講義をいただいてお
りました『勅修御伝』聖典輪読会は、昨年度を
持ちまして無事に最終巻まで読み達成するこ
とができました。関係諸大徳のみなさまへの深
い感謝と共に、ご報告を申し上げます。

今期も会員一同で力を合わせ、神淨青・組淨
青事業に積極的に関わわり、有意義な淨青活動
ができるようがんばっていきたいとおもいます。
何卒よろしくお願い申し上げます。

高座組

本年度より高座組淨土宗青年会の会長とな
ります増全寺 香川陽祐です。歴史ある高座淨
青の会長を務めさせていたくことは、大変光
栄であると同時に責任も強く感じております。
高座淨青は数年前より会員数が減少の一途を
辿っております。特に私たちの学年が淨青を卒
業する四年後には大幅な会員数減少が決定的
であります。残される後輩たちがより良く会を運
営できるよう、高座組OBのみなさまの更なる
事業へのご参加を推進し、また他の組淨青と
合同事業を開催するなどの連携強化をしてい
かなければならぬと考えております。今期は

その基礎の構築となるように取り組んでいきた
いと考えています。

事業展開としては、恒例の一千礼拝、港
南淨青合同法式研修、家族親睦会、研修旅行を行
います。さらに不定期開催とはなりますが法
式勉強会、布教勉強会の開催も予定しております。

また、今期は関ブロ淨青理事長に小田原組の
小保慶樹上人が、神淨青会長に当会より三浦
康志上人が就任されますので、上部組織の事業
にも積極的に参加を呼び掛けてまいります。

高座淨青は上下関係がありながらも和気あ
いあいと過ごせる環境があります。伝統ともい
えるこの環境を大切にし、時には真剣に事業に
取り組み、時には親睦を深め、和合をより一層
強固にすることこそが自行・化他への力となる
と考え、一期一年の限られた時間ではあります

港北組



会長
大橋 雄人

この度、港北淨青会長を務めることとなりま
した大蓮寺の大橋雄人です。よろしくお願ひい
たします。

港北淨青は、現在大変少ない人数のなか、組
内諸先輩に支えられるながらの活動ではあります
が、昨年度は宗忠寺の夏見有実上人、今年度
は淨泉寺の井村真大上人を迎えて、会員も微増
しております。また、私自身が全淨青幹事・神
淨青編集委員長、安田会員が神淨青会計・横川
会員が関ブロ淨青事務局員、井村会員が編集
委員として出向し、貴重な経験を積ませていただ
いています。

今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

港北淨青の今年度の事業としては、年四回の
研修会を基本としながら、全国・関ブロ・神
淨青の事業に積極的に参加をしてまいります。
とおもいます。当会の研修会としては、浄土宗
総合研究所研究員・大正大学非常勤講師の工
藤量導先生(青森教区本覚寺)にお願いし、淨
土宗総合研究所で現在行われている研究につ
いてご紹介いただく予定となっております。淨
土宗の研究所では、他宗派に先駆けて先進的な
研究が進められている方で、宗内教師はそれ
をあまり知らないというところから、研究所お
よびその活動を知つてもう機会としたいとお
もっております。また特別研修会として、二月頃
に翠雲堂松戸工場の見学も予定しています。
いずれの研修会も公開制として神淨青メー
リングリストを通じてお知らせしてまいります
ので、ご興味がある方のご参加をお待ちしてお
ります。



鎌倉組



長 鈴木 顕祥

この度、鎌倉組淨青の会長を務めさせていただくこととなりました傳福寺 鈴木顕祥です。鎌倉組は昨年度をもちまして関谷泰然上人がご卒業され新たに鹿谷尚孝上人、渡部良賢上人を迎えて総勢四名で活動してまいります。事業といたしましては、およそ二十年にわたり港南組と合同にてご講義賜りました柴田台下による勅修御伝研修会が昨年度をもって円成いたしましたので、今期より大正大学非常勤講師・浄土宗総合研究所研究員の石田一裕先生を講師にお迎えし、年二回ほど研修会を開催いたします。また、継続事業として港南組と同の法式研修会、三浦組との歳末助け合い托鉢

を予定しております。
そして今年度は、教区長杯スポーツ交流大会が鎌倉組の担当となっております。会員一同、話し合いを重ね、みなさまに楽しんでもらいますよう準備を進めています。多くの会員のご参加をお待ちしております。また神淨青創立四十五周年ということで、記念事業をはじめ様々な行事にも積極的に参加し研鑽に励んでいきたいとおもいます。

二十代から四十代にかけての限られた青年会の期間をあますことなく、有意義に過ごすことが大切だとおもいますし、そこで得た様々な経験や知識を吸収し、自坊や地域に活かしていくような会を目指していきたいとおもいます。
先輩方の築いていたいたい雰囲気を大切にし、互いに協力し合い、みなさまのご指導ご協力を賜り活動してまいります。一年間何卒よろしくお願い申し上げます。

今期、三浦組青年会会長を務めます光昭寺の三浦正順です。

本年度、三浦組淨青は新たに三樹院・今井玲苗会員、光慈寺・高麗曉教會員のお二人を迎え、計二名にて活動をしてまいります。

平成三十年度の事業計画として、前期に引き続き会員同士で研鑽を積む研修をいたします。一つは、僧侶として身につけておくべき書式について、もう一つは読經するうえで基本となる声

中郡組



会長 小川 勉道

神崎隆雄会員が書記として、一真成会員が事務局員として、一真如会員が編集委員として出向いたします。

今年度の事業計画は、前々期からの継続事業となる江島尚俊会員による勉強会、神淨青三浦康志会長を講師に迎え法式作法の基本を見直す研修会、また、例年行っている家族親睦会や研修旅行等を予定しております。

この度、伊藤圭祐前会長の後任として、中郡組淨青会長を務めさせていただきます大松寺の小川勉道です。よろしくお願ひいたします。

中郡組淨青は、昨年度をもって、会員一同お世話になり、いろいろとご指導いただきました佐々木元洋上人、大室了寛上人がご卒業され、法然寺の稗貫弁道上人を迎える総勢三名となります。また、贊助会員制度が昨年度の組会にて承認され、本年四月より始まりました。諸先輩方に贊助会員として入会していただき、共に活動させていただきます。神淨青には

三浦組



会長 三浦 正順

を鍛えるためのボイストレーニングを研修として行います。また長年の継続事業である鎌倉組淨青と合同の年末托鉢（於鎌倉組高德院様）も行い、さらには組内の十夜法要でも役立つとも思つております。どうぞよろしくお願いします。

県淨青へ今期は執行部へ二名が出向しております。県の事業にも積極的に参加し、活気溢れる活動を目指してまいります。活動を通して、自行、化他、和合に結び付くような年にしたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。

小田原組



会長 皆川演亮

て出向いたします。小田原組淨青として、阿川前会長期に引き続き、会員一同支えてまいりました。神淨青へは戸松会員が事務局員、北郷会員が編集委員として出向いたします。

今期事業予定としては、一年間を通じての勉強会①として千葉教区常行院 郡嶋昭示上人に「二祖聖光上人を学ぶ」と題してご講義をいたしました。小俣会長のもと、当会より大場会員、竹石会員、戸松会員、私が執行部として神淨青活動に携わらせていただきました。さらに小俣会員は今年度より第二十四期関東ブロック浄土宗青年会理事長に就任され、当会より大場会員、竹石会員、戸松会員が関ブロ執行部とし

この度、阿川貫淨前会長の後任として、小田原組淨青年部会の会長を務めます城前寺 皆川演亮です。当会は今年度、昨年度と変わらず会員十三名で活動をしてまいります。

前期は、当会の小俣慶樹会員が第二十三期神淨青第二十二代会長として二年間務められました。小俣会長のもと、当会より大場会員、竹石会員、戸松会員、私が執行部として神淨青活動に携わらせていただきました。さらに小俣

会員は今年度より第二十四期関東ブロック浄土宗青年会理事長に就任され、当会より大場会員、竹石会員、戸松会員が関ブロ執行部とし

浄土宗神奈川教区青年会 平成29年度 事業報告

月	日	内 容	場 所
4月	14日(金・友引)	第1回理事会	大本山光明寺
4月	20日(木・友引)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	22日(月・赤口)	※神奈川教区吉水講詠唱大会	大本山光明寺
5月	23日(火・先勝)	関プロ別時念仏会	増上寺
5月	29日(月・友引)	第2回理事会	大本山光明寺
6月	16日(金・友引)	第4回定想会	大本山光明寺
6月	21日(水・先勝)	第44回関プロ浄青総会 並 研修会 担当 栃木教区	宇都宮
7月	1日(土・赤口)	機関紙「浄青神奈川」第43号発行	浄土宗神奈川教区青年会
7月	3日(月・友引)	第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
7月	24日～26日(月～水)	※関東教化センター第70回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
8月	29日(火・友引)	全淨第13回全国大会 担当:東海ブロック 尾張教区	名古屋
9月	15日(金・先勝)	第4回理事会	大本山光明寺
9月	26日(火・友引)	各組担当別時念仏会(港南・高座担当)	大本山光明寺
10月	2日(月・友引)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
10月	14日(金・仏滅)	十夜托鉢	大本山光明寺
10月	25日(水・友引)	第34回関東ブロックスポーツ交流大会	埼玉
11月	6日(月・友引)	第5回定想会	大本山光明寺
11月	22日(水・友引)	神奈川教区長杯スポーツ大会 担当:高座組	海老名
11月	29日(水・先負)	全淨別時念仏会	熊本
12月	15日(金・先勝)	第6回理事会・臨時総会・忘年会	ローズホテル横浜
1月	17日(水・赤口)	関プロ別時念仏会	増上寺
1月	24日(水・先勝)	第7回理事会・御忌別時念仏会	大本山光明寺
2月	15日・16日(木・金)	全淨第43回 総合研修会	京都
2月	5日～9日(月～金)	第6回定想会(最終)	インド
3月	6日(火・先勝)	第8回理事会/各組担当別時念仏会(京浜・港北担当)	大本山光明寺
3月	31日(土・仏滅)	「寺集～てらつど～」	大本山光明寺
4月	10日(火・友引)	臨時理事会	大本山光明寺

神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会

平成29年11月22日、県立相模三川公園スポーツ広場にて神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会（高座組浄青担当）が開催されました。近年、室内競技や雨天によるボーリング大会が多くありましたが、数年ぶりのソフトボールとなりました。開会式には富田浩雅教化団長にごあいさつを頂戴し、始球式もお務めいただきました。

当日、天気が危ぶまれましたが、競技中は雨に降られることもなく、会員一同スポーツマンシップに則り試合が進行されました。寒空のなかでしたが、参加者にとくに大きなかぎもなく無事終了いたしました。

懇親会は海老名駅近くのザ・ウイングス海老名にて開催されました。横井教区長をはじめとして多くの来賓・OB会員がお越しくださいり、会員相互に和やかななかで懇親を深めることができました。



【大会結果】

優勝 中郡浄青
準優勝 小田原浄青
3位 高座浄青



第5回 寺集～てらつど～

平成30年3月31日、大本山光明寺を会場として神浄青主催による第5回「寺集～てらつど～」が開催されました。当日は幸いにも天候に恵まれ、桜もほぼ満開に咲く穏やかな気候の中、4千人を超える方々にご来場をいただきました。

今回も今までと同様、「集まろう、繋がろう」をテーマといたしました。多くの方がお集まりくださったことはもちろん、境内での様々な催事にて青年僧と接していただいたことで繋がりが生まれ、テーマどおりお寺を身近に感じる一助となれたのではないかと思っております。

また、来場の方から今後の継続を願う声や楽しかったというお話を聞くたびに、あらためて「寺集～てらつど～」の必要性と意義深さを感じました。

第24期神浄青でも「寺集～てらつど～」の開催継続が決定しておりますが、会員だけでは成し得ない行事であると感じています。大本山光明寺、教区内の各御寺院、寺庭婦人会の皆様方におかれましては、今回の御支援御協力を衷心より感謝申し上げますとともに、今後ともお力添えを賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



卒業会員挨拶



鎌倉組 天然寺 関谷 泰然

淨青活動、苦しい時も楽しい時も、それを分かち合ってくれる仲間がいました。

これは私の人生にとって、かけがえのない宝となりました。

現役で頑張っているすべての会員のみなさまが、有意義で楽しかったなどおもえる会として、神淨青が益々繁栄していくことを心から願っております。



中郡組 三福寺 大室 了寛

長い間、淨青のみなさまには大変ご迷惑をかけ、お世話になりました。

振り返るとあっという間に過ぎてしまい、仕事、仕事でなかなか参加ができず、みなさまには多大なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

これからは、別の何かでみなさまにお返しできたら嬉しくおもっておりまます。みなさま本当にありがとうございました。



高座組 善教寺 中西 謙司

淨青で一番印象に残っている活動はスポーツ交流大会です。普段からスポーツを通じて様々な方達と交流していますが、やはりスポーツは親睦を深めることに大変役立つとおもいます。

今後も筋トレ、ゴルフ、野球観戦を通じて、多くの方達と交流し、念仏の輪を広げていきたいとおもいます。



中郡組 大宝寺 佐々木 元洋

気が付けばもう卒業を迎えることになりました。

会員としてみなさまと、さまざまな事業に関わらせて頂いたことは一生懸命渡る宝となりました。

こんな私を受け入れ、支えて頂きました会員のみなさまに感謝申し上げます。そして、これからのみなさまの益々の発展とご活躍を祈念いたします。

新入会員紹介



①石田 一裕
(いしだ いちゆう)
②昭和56年2月
③平成13年12月
④京浜組 光明寺
⑤O型
⑥カレーライス
⑦イチュー
⑧読書、ゲーム・サンスクリット語がすこし読みます。
⑨水谷豊(というか杉下右京)



①宮林 孝彦
(みやばやし こうげん)
②平成6年6月
③平成27年12月
④京浜組 大光院
⑤O型
⑥麺類
⑦特になし
⑧睡眠
⑨特になし



①井村 真大
(いむら しんだい)
②平成8年6月
③平成29年12月
④港北組 清泉寺
⑤B型
⑥辛いもの全般
⑦いむちよ
⑧サイクリング、麻雀
⑨サンドウィッチマン



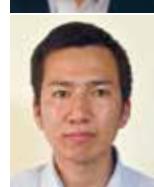
①永原 雄太
(ながはら ゆうた)
②平成6年8月
③平成28年12月
④港南組 清源院
⑤B型
⑥特になし
⑦なかっち
⑧三味線、映画鑑賞
⑨特になし



①瀬高 佑晃
(せたか ゆうこう)
②平成7年9月
③平成28年12月
④高座組 真源寺
⑤A型
⑥ラーメン、焼肉、焼鳥
⑦特になし
⑧ドラマ、スノーボード
⑨サンドウィッチマン



①鹿谷尚孝
(しかたに しょうこう)
②昭和59年9月
③平成27年12月
④鎌倉組 九品寺
⑤B型
⑥甘いもの
⑦しかさん
⑧トレッキング・写真
⑨鈴川絢子



①渡部 良賢
(わたべ りょうけん)
②平成7年10月
③平成28年12月
④鎌倉組 正業寺
⑤B型
⑥寿司
⑦りょうけん
⑧サッカー観戦
⑨千鳥



①今井 玲苗
(いまい れいみょう)
②平成6年5月
③平成29年12月
④三浦組 三樹院
⑤AB型
⑥力二
⑦れんちゃん
⑧お菓子作り
⑨嵐



①高麗 晓教
(こうらい ぎょうきょう)
②平成7年10月
③平成28年12月
④三浦組 光念寺
⑤O型
⑥カレー
⑦特になし
⑧野球観戦
⑨特になし



①神崎 陽己
(かんざき ようき)
②昭和63年5月21日
③平成21年12月
④中郡組 法界寺
⑤O型
⑥和食
⑦かんちゃん
⑧釣りと酒
⑨ムロツヨシ



①稗貫 弁道
(ひえぬき べんどう)
②平成4年8月18日
③平成26年12月25日
④中郡組 法然寺
⑤A型
⑥唐揚げ
⑦ぬーきー
⑧音楽鑑賞
⑨バナナマン

①氏名 (僧名)	⑤血液型
②生年月	⑥好きな食べ物
③加行成満	⑦ニックネーム
④所属寺院	⑧趣味、特技
	⑨好きな芸能人

全淨・関プロ出向者紹介



全淨常務理事
関プロ常務理事
小俣 慶樹



全淨理事
関プロ常任理事
三浦 康志



全淨幹事
大橋 雄人



関プロ理事
香川 陽祐



関プロ事務局長
大場 得法



関プロ事務局次長
竹石 光流



関プロ事務局員
野呂 宗幸



関プロ事務局員
横川 幸俊



関プロ事務局員
坂本 健成



関プロ事務局員
小川 勉道



関プロ事務局員
戸松 良明



関プロ会計
吉川 瑞之

平成30年度 浄土宗神奈川教区青年会 事業計画

月	日	事 業 内 容	場 所
4月	10日(火・友引)	第1回理事会	大本山光明寺
4月	27日(金・友引)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	10日(木・先負)	詠唱勉強会	大本山光明寺
5月	22日(火・大安)	神奈川教区吉水講詠唱大会	大本山光明寺
5月	31日(木・友引)	第45回関プロ浄青総会 並 研修会 担当 長野教区	長野県松本市
6月	11日(月・先勝)	第2回理事会・新旧役員歓送迎会	横浜 崎陽軒本店
6月	29日(金・友引)	第3回理事会・大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
7月	1日(日・仏滅)	機關紙『淨青神奈川』第44号発行	浄土宗神奈川教区青年会
7月	25日(水)~27日(金)	関東教化センター第71回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
8月	30日(木・友引)	全淨第14回全国大会 担当:石川教区	石川県金沢市
9月	11日(火・先負)	第4回理事会	大本山光明寺
9月	28日(金・友引)	神奈川教区長杯争奪スポーツ交流大会 担当:鎌倉組	未定
10月	4日(木・友引)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
10月	14日(日・友引)	十夜托鉢	大本山光明寺
10月	26日(金・友引)	関プロスポーツ交流大会練習会	海老名運動公園野球場(予定)
11月	1日(木・友引)	関プロスポーツ交流大会 担当:茨城教区	茨城県
11月	12日(月・友引)	第6回理事会・托鉢	大本山光明寺・高徳院
11月	15日(木・大安)	全淨別時念佛会	大本山百万遍知恩寺
12月	5日(水・先勝)	神淨青45周年記念事業・忘年会	平塚
1月	17日(木・大安)	関プロ別時念佛会	大本山光明寺
1月	24日(木・赤口)	第7回理事会・御忌別時念佛会	大本山光明寺
2月	6日(土・友引)	全淨第44回 総合研修会	大本山増上寺(予定)
	11日(月・先勝)	税務講習会・懇親会(ダーツ大会)	本厚木
3月	6日(水・赤口)	第8回理事会	大本山光明寺
3月	30日(土・先勝)	寺集～てらつど～	大本山光明寺

第24期 神淨青 編集委員



林田 徹順



井村 真大



山澤 真弘



伊藤 泰毅



鹿谷 尚孝



杉浦 尋徳



一 真如



北邨 太賢



神淨青ホームページ。
www.jodo-kks.com



Find us on
Facebook フェイスブック

